



この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

R6さいと学「キャリアみらいゼミ」を開催



妻高校によるハイスクールクエスト



地元事業所によるワーキングクエスト

妻中生による見事な発表



本市のさいと学では、中学一年の下半期において将来の自己実現について考える学習を位置付けています。その一環として、市内の全中一年生が一堂に会するイベント「キャリアみらいゼミ」を1月31日に市民会館(午前中)・妻中体育館(午後)を会場に開催しました。第一部は高校で学ぶ意義や進路選択についての理解を深めるハイスクールクエスト。妻高の三浦校長先生や本校OBの三年生たちが合格や就職に至るまでの道のりを熱く語ってくれました。第二部は西都の歴史や文化を学ぶマイタウンクエスト。妻中の一年生代表が記紀の道や日本遺産・西都原古墳などについて一学期に探究した結果を見事なプレゼンで発表してくれ、高い評価をいただきました。最後に、西都で暮らし・働く魅力を学ぶワーキングクエスト。市内の21事業所の方々にお越しいただき、各ブースで魅力を語っていただきました。生徒達は自分の選んだ3つのブースで話を聞き学びを深めました。こうした学習を通して将来の生き方や自己実現の在り方を中一のうちから考えることで、今後の学校生活に生かして欲しいと思います。

令和6年度「立志式」を実施！(2年生)



本校では、成長の過程における「節目」をつぶねたが、より充実した生き方につながると考えて、中学生を対象に立志式を行っています。「これまでの自分を振り返り、見つめ直し、これから自分の生き方を考え、更にはそれをアウトプットすること」で、三年生進級に向けての気持ちを新たにして表しました。また、これまでの学びや発見した内容についてもプレゼン発表が行われました。

三真の轍 わだち

新プロジェクトX・明石海峡大橋編

は97t、直径は1mもあります(写真左)。激流の海峡、しかも船舶がひっつきりしないに通るため、このワイヤーを橋桁間に渡すためにはヘリコプターを使つたのだそうです。不可能と言われた事業を成し遂げてこの橋が完成するまで、淡路島や四国の方々は本州に行くのに船を使うしかなく、その豊かな産物を阪神地方に送るには不便でした。長年に渡つて架橋は人々の夢でしたが、その夢の実現をあきらめなかつたのが、土木技術者から神戸市長に転じた故・原口忠次郎氏でした。白眉夢と笑われながらも夢を追い続け、技術者達の努力が実を結んだ架橋事業は、阪神淡路大震災をも乗り越えて実現に至つたのだそうです▼橋を渡り終え、対岸のパークイングで観覧車に乗り眺めてみると、その迫力と美しさにしばし見とれてしまします。明石側の海岸には原口市長の言葉「人生すべからく夢なくしては叶いません」がモニュメントに刻まれています。夢を持ちその実現に努力し続けることの大切さを実感する体験でした。(校長 伊東泰彦)



ロボコンクラブ全国準優勝！



本校のロボコンチーム「粹」が、2月1日に東京都で開催された全国大会で準優勝という快挙を成し遂げました。ロボット製作のアイディアはもちろん日頃の練習の成果を発揮しての成果。見事です。



季中美術展が見事でした！



本校では美術部及び美術の授業作品等の展示会を開催しています。今年もレベルの高い見事な作品がそろってございました。

お礼とお願ひ（最後）（卒業アルバムのご貸与）

「閉校記念誌作成のための卒業アルバムご貸与」については、多数の方にご協力いただきており、誠にありがとうございます。次の年度については、まだアルバムがありません。呼びかけは今回を最後にし、集まつたアルバムにて閉校記念誌作成の作業を始めたいと思います。もし、貸してくださる方をご存じでしたらご連絡いただけるとありがたいです。(妻中☎ 0983-43-3219)

第1～7回(昭22～28年)・現86～92歳の方	第9・10回(昭30・31年)、現83・84歳の方
第13回(昭34年)、現80歳の方	第15回(昭36年)、現78歳の方
第22回(昭43年)・現71歳の方	第31回(昭52年)・現62歳の方